

「脇本学（総合的な学習の時間）」

1 学校名

阿久根市立脇本小学校

2 学年・人数

6 学年・27 人

3 日時・場所

(1) 学習会等の日時・場所

総合的な学習の時間に、松木弘安（寺島宗則）について学習する。

1 学期：「創立百周年記念誌 脇小百年」をもとに調べる。

松木弘安（寺島宗則）の生家を見学。

2 学期：調べたことをもとに、壁新聞にまとめる。

相互に発表する。

平成 30 年 7 月 17 日（火）「維新の学びキャラバン」県 PR 課推進室主催
（本校会場）に参加。

平成 30 年 11 月 2 日（金）「寺島宗則卿物語」と題した P T A 教育講演会
に参加。

(2) 発表の日時・場所

授業における児童相互に発表し紹介し合う。

学習したことを壁新聞にまとめ、校内に掲示する。

4 活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について

(1) 名称・時代

まつきこうあん てらしまむねのり
松木弘安（寺島宗則）旧家（築 180 年）・江戸後期

(2) 特徴

松木弘安（のちの寺島宗則）は、幕末、英国に密航した薩摩スチューデント一行 19 人のうちの一人であり、留学生ではなく一行を引率するリーダーとしての参加であった。彼は、幼少時から長崎で西洋文化を学び、島津斉彬の右腕として幕末から明治の初めに大活躍した人物である。日本の近代化に尽くした電信の父と呼ばれ、日本の地域を向上させた外交リーダーとして活躍した。

薩摩スチューデント一行 19 人のうち生家が現存しているのは、松木弘安だけである。築 180 年を超え、老朽化した生家を修復し、松木弘安の人生や功績を語り継ぐ場や貴重な資料を保存公開する場として、旧家の保存活用プロジェクトが阿久根市の事業として立ち上がっている。

5 保存会や地域との連携の具体

現存する松木弘安の旧家を保存活用しようとのプロジェクトが始まり、校区内に地域住民を中心に「寺島会」が結成された。本会のメンバーに、脇本小教頭が加わり、定例会やイベントに参加して、会員との交流を深め、松木弘安に関することだけでなく、脇本の校区の歴史等の学びを深めている。

本会の活動の一つである紙芝居づくりに参画し、読み聞かせ等で聞かせていただくだけでなく、子供たちが読み聞かせるなど主体的な活動となるよう協力を依頼した。

P T A 教育講演会に講師として招聘した川畑忠実氏は、「寺島会」会員である。その他にも、子供たちの学習にボランティアの協力を約束してくださる方も多い。

今後は、寺島宗則に関する学習をさらに深化させるとともに、中馬大蔵らの郷土の偉人を学習対象として掘り起こし、学習時間と学習内容を広げる工夫に取り組みたい。

6 活用の取組の工夫した点

- (1) 昨年度末、総合的な学習の時間の活動計画に、「ふるさとに学ぼう！ 脇本学」(全14時間)を計画し、活動時間を確保した。
- (2) 明治維新150周年を記念して企画された「維新の学びキャラバン」を本校で開催し、関心を高めるとともに学習を深める工夫をした。
- (3) 夏季休業中の職員研修時のフィールドワークに松木弘安の旧家を見学し教材研究につながる活動を仕組み、工夫をした。
- (4) 県民週間の期間を利用して、P T A 教育講演会を開催し、寺島宗則に関する講演を企画、実施し、保護者だけでなく、6年生児童の参加を参加させ、学びを深める工夫をした。
- (5) 校区に結成されている「寺島会」に教頭が参加し、出席、活動することで、松木弘安旧家保存活用プロジェクトに関する情報を得、活用のための地域の方とのパイプ役となるよう努めた。

7 取組の様子(研究発表、創作劇等)



旧家の見学



P T A 教育講演会



維新の学びキャラバン

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

(1) 児童

寺島宗則について総合的な学習の時間に調べてみて、脇本にこんな立派な人がいたのかと驚きました。そして、脇本の先輩なのだとなり、うれしくなりました。もっと他の人についても調べて、脇本のことを知り、友達にも教えてあげたいと思います。

(2) 教職員

夏季休業中に、松木弘安の旧家の見学に行きました。180年を超える旧家とあって、老朽化も進んでおり、一日も早い修復作業の完成が待たれるところです。庭の片隅に残っている弘安の母親が無事を願って建立した地蔵に心を打たれました。改めて母親の子への不変の愛情を見る思いがしました。

